

## クマタカ (学名: *Nisaetus nipalensis orientalis*)

[ タカ科クマタカ属 ]



クマタカは、標高300m程度の低山帯から標高2000mを超える亜高山帯の森林に棲み、一年中同じ地域で暮らす留鳥<sup>リウチウ</sup>です。名前のクマ(熊)は大きく強いという意味であり、タカ科の中では大型であることが和名の由来です。全長が雄は約75cm、雌が約80cm、翼開長は約160cmから170cmあり、雌は雄より一回り程度大きいです。木の枝の上などから地上を見張り、確実に仕留められるタイミングや条件が揃った時に初めて狩りを始めます。

狙う獲物はノウサギ等の中形哺乳類、ヘビ類、ヒヨドリ、ヤマドリ等の中形以上の鳥類が多く、その捕食する種の広さから豊かな森林生態系の指標種とされています。

只見町では、それらの捕食される対象である動物の生活圏内に人も住んでいるため、エサを探すクマタカが里山を飛んでいる姿が度々目撃されています。

繁殖は1年あるいは隔年に1回行われ、通常1回につき1卵を産みますが極稀に2卵産むこともあります。抱卵は主にメスが行い、オスは狩りを担当します。つがいはどちらかが死亡しない限り、一夫一妻が維持され続けます。

〈企画展示〉

旧田子倉集落の生活と文化  
【ふるさと館田子倉コレクション】  
4月14日(月)まで開催中

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

〈自然観察会〉

- ・ 残雪のブナ林を歩く 5月4日(日) ※要予約
- ・ 春植物を愛でる! 5月5日(月) ※要予約

詳しい内容については、決まり次第HPにてご連絡いたします HP:<http://tadami-buna.jp/>

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

## 今月の表紙

今月の表紙は「3.11 ふくしま復興の誓い 2014 in 南会津」のキャンドルナイト。写真の3つのキャンドルケースは、只見民芸品保存会が作成したつる細工の作品です。この作品は今回の祈念事業の監修を務めるキャンドルアーティストのキャンドルジュンさんから依頼され作成。納品の際に作品を見たキャンドルジュンさんはその素晴らしさに感激されていました。震災の犠牲者の追悼と福島復興への願いを込めたキャンドルとケースは会場を温かく包みました。



▲只見民芸品保存会の作品を受けとるキャンドルジュンさん(中央)